

医建エンジニアリング株式会社

業 種／建設業
 主な事業内容／放射線防護工事・線量測定・遮へい計算・関連用品販売
 従業員数／31人

備 蓄

アレルギー対応食品を用意 多様な社員に配慮する

大地震発生に備え、一般的な非常用食品の他にアレルギー対応の同食品を備蓄する。会社で待機する際、アレルギーを持つ社員でも食べ物に困らないようにすることを目的に導入した。該当の品はライスクッキーとカレーピラフ。同食品にはハラールマークが付く。食感や味の異なるバリエーション豊富な非常食を備え、非常時に飽きがこないようにすることにも努めている。



衛生面のグッズを各種用意 万が一のときも困らない

消毒用のアルコールやマスク、簡易トイレなど、衛生面に配慮した非常用グッズを各種揃える。災害時は会社内のトイレが使用できないなど、衛生面のトラブルが想定される。また、会社内に閉じ込められてしまうケースも想定される。そういったとき、これらのグッズがあれば社員は衛生的に過ごすことができる。とくに女性社員に好評を得ている。



社用車に防災グッズを装備 外出先のリスクにも備える

社用車に「防災安心セット」を装備。営業マンなどが車で外出した先で災害に遭い、道路が閉鎖されてしまったら、車内に閉じ込められたときなどに備える。同セットの中身は、水と食料、使い捨て携帯トイレ、簡易ライト、アルミブランケット、ホイッスルなど計10点。-20℃～80℃の温度まで対応し、環境の変化が激しい車内に搭載しても安心の品といえる。



保管場所を変えてリスクヘッジを図る

非常食や各種グッズはキャビネットへ。部屋の行き来が困難になることを想定し、事務所と会議室に分けて保管する。



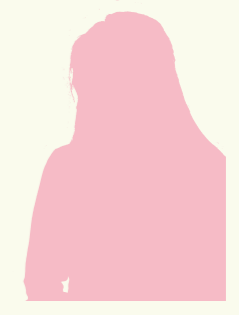
●社内掲示ポスター
 職場の目立つ場所に掲示している周知ポスター。被災直後の初期行動について書いてある。



備蓄品の品揃えで社員に対する会社の配慮が嬉しい

トイレは絶対に我慢できない…簡易トイレが会社にある安心感

「非常時、食事は1日くらい我慢できても、トイレは絶対に我慢できません。前職の話ですが、東日本大震災の際、会社のビルが古くて避難を余儀なくされたとき、トイレを心配しました。その経験もあって、当社では防災のために簡易トイレを用意していると聞き、とても安心しています」(社長特命業務室、末廣由子さん)



アレルギーでもOK みんなで食事をとれるのがうれしい

「私自身は食品のアレルギーを持っていませんが、成人でもいつ発症するかわかりません。災害時ともなると医療のインフラが途絶することもありますので、アレルギー対応食を備えてもらえて安心です。じつは私の部下が柑橘系アレルギー。みんなで安心して食べられるので嬉しいです」(開発営業センター・センター長、上田樹理さん)

トラブル時も安心 高速道路上で立ち往生しても心配なし

「災害時もちろん、雪やパンクで車が動かなくなったなど、ちょっとしたトラブルの際もこの防災セットがあると安心です。高速道路上で立ち往生したときはとくに役立つと思います。都内の一般道で車が留まったらコンビニに行けませんが、高速道路上ではそうはいきませんからね」(ホーシャット営業部・営業課主任、布施成基さん)

